

# 研究実施のお知らせ

2024年7月11日 ver.1.0

## 研究課題名

薬剤アナフィラキシーの皮膚テストと負荷試験と好塩基球活性化試験の一致率の後方視的検討

## 研究の対象となる方

2014年8月1日から2024年7月31日の間に島根大学医学部病院皮膚科で薬剤誘発アナフィラキシーと診断され、皮膚テストまたは負荷試験と、採血を受けられた方

## 研究の目的・意義

アナフィラキシーとは、アレルゲン等の侵入により複数臓器に全身性にアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得る過剰反応を言い、血圧低下や意識障害を伴う場合をアナフィラキシーショックといいます。アナフィラキシーの多くはIgEが関与する免疫学的な機序によって発生し、食物や刺咬昆虫(ハチ、蟻)、薬剤によって引き起こされます。このうち薬剤アナフィラキシーについては皮膚テストや負荷試験などの侵襲を伴う検査法しか確立されておらず、検査によるアナフィラキシー発症の危険を伴います。一方、好塩基球活性化試験は少量の採血検体を用いて末梢血好塩基球の活性化の程度を定量化することができ、アレルギーの状態を採血のみで評価できる可能性があります。今回、皮膚テストや負荷試験の結果と、好塩基球活性化試験の結果の一致率を解析することで、少量の採血検体による薬剤誘発アナフィラキシーの診断精度を明らかにするため、この研究を計画しました。

## 研究の方法

本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

- ・利用する情報の項目：年齢、性別、アナフィラキシーの原因と考えられた薬剤、アレルギーの症状、皮膚テストの結果、負荷試験の結果、血液検査の結果
- ・利用する情報の取得の方法：診療録(カルテ)情報を転記して行います。
- ・研究対象者の個人情報の取り扱い：調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

## 研究の期間

2024年8月21日～2026年12月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。あなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部皮膚科学講座 千貫祐子

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部皮膚科学講座／附属病院皮膚科 千貫祐子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2210 FAX 0853-21-8317